中高生のための

第6回グローバル講演会

日本だけでなく、世界に目を向けてみます。 教育制度は世界共通ではありません。海外での学びの事情を知ることで、小さな端末の画面から広い世界を体感してみましょう。その中には、皆さんの将来を考えるヒントが隠されているかもしれません。さらに、理系の研究者がどのようにして世界に通用する研究を行っているのか、百戦錬磨の研究を繰りひろげている舞台裏を紹介します。

モデレーター 植村 知博 お茶の水女子大学 理学部 生物学科 教授



京都大学大学院生命科学研究科で博士号を取得。その後、理化学研究所、東京大学で植物のオルガネラ研究に従事。ドイツ、フランス、アメリカ等と国際共同研究をおこなっている。



ドイツの教育制度とドイツで働くということ 一日本との比較一 磯野 江利香 コンスタンツ大学 生物学科 教授

遠くて近い国ドイツ。ドイツ生まれ日本育ちの私がドイツに留学して日独双方の教育制度 を体験し、欧州のさまざまな国の研究者と共同研究をした経験を元に、教育制度の違いや 国際交流の私なりの心得をご紹介します。



アメリカと日本の教育制度の違い、中国での暮らしとお仕事 TSANG Sin Yi (ツァン シンイー) お茶の水女子大学 理学部 数学科 准教授

高校3年生から大学院修了までアメリカに住んでいました。アメリカと日本の教育制度の 違いについてお話しします。博士号取得後は中国で博士研究員として4年間働いていまし た。そのときの経験や感じたことを共有します。

日時 : 2025年7月27日(日) 14時30分~16時30分

(講演・質疑応答)※オンライン(Zoom)にて開催

対象 : 中学生・高校生、保護者、教員

主催 : お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所

共催 : お茶の水女子大学附属高等学校



申込み・問い合わせ先

申込フォーム

https://www14.webcas.net/form/pub/ocha/20250727から、7/24(木) までにお申し込みください。





お茶の水女子大学 理系女性育成啓発研究所











